※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　デザイン科

教科	工業	科目	デザイン実習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、2 班に分かれて「立体デザイン（木彫・陶芸）」と「公共的デザイン」に取組みます。公共デザインでは、１、2 年の基礎実習を踏まえて、公募ポスターコンクールに取り組んだり、現在進行中の社会問題などについてデザインで何ができるか考えましょう。

２　学習の到達目標

デザインを社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、デザインにより解決できる課題を発見する。また、デザインに係る技術を実際の作業を通して総合的に身に付けながら、デザインによる豊かな生活や社会を構築する力の向上を目指して、自ら主体的に学ぶ態度を養う

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学外のコンクールにチャレンジし評価を受けようとする。 現在進行中の社会的な問題に関心を持つ。	依頼者の要望を考える。 報道などの情報について熟考し、自分たちとどう関わるか思考する。 メッセージを伝える表現のアイデアを考える。 スケジュールを考える。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 機能性と装飾性を追求し実用的なデザインを考える。	調べる技術。 ブレインストーミングなど発想を広げるための技術。 様々な表現の技術 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 木を素早くきれいに加工する技術。粘土を思い通りに成型できる技術。	テーマについて理解を深める。 デザインコンセプトについての理解。 計画的に制作を進めるための知識と理解。
評価方法	授業観察 提出物 実習作品	授業観察 提出物 実習作品	授業観察 提出物 実習作品	授業観察 提出物 実習作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
１学期	公募コンクールに応募する ―　陶芸　〔埴輪をつくる〕	・様々な公募ポスターコンクールの要項、過去作品を調べ、挑戦するテーマを決める。 ・選んだテーマを巡りどのような問題点があるのか調べる。 ・何を伝え、問いかけたいか？切り口を複数案考える。 ・各切り口を簡潔なキーワードとして表現する。 ・取り組むか方向性を決める。 ・キャッチコピーを考える。 ・ビジュアルを考える。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 弥生時代の埴輪の制作意義を知り、自分に見合う埴輪のデザインを考える。また、設置場所に合った装飾性をトータルに考える。	○	○	○	○	a:学外のコンクールにチャレンジし評価を受けようとする。 b:依頼者の抱える要望について調査し考える。 問題の切り口を簡潔なキーワードとして表現する。 c:テーマについて調べる技術。 d:選択したテーマについて理解を深める。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ｂ:イメージしたデザインの通りに、どのような手順で作業を進めるか考える。 ｄ：素焼、本焼、釉薬など焼き物が完成するまでの工程を理解する。	授業観察 提出物 実習作品

※令和３年度以前入学生用

1学期	公募コンクールに応募する ―　木彫　〔ネームプレート〕	・アイデアが決まったら画材や表現方法を検討し、必要な準備や制作スケジュールを立てる。 ・制作する。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ネームプレートのデザインを考える。 装飾性を重視してレリーフ状の飾りをどのように配置して名前を引き立てるか考える。	○	○	○	○	a: 学外のコンクールにチャレンジする意欲。 b:メッセージを伝えるための表現のアイデアを考える。 指定された期限内に完成させるスケジュールを考える。 c:様々な表現の技術 d:計画的に制作を進めるための知識と理解。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ｂ:彫刻刀をどう使えばきれいに簡単に切れるか考える。 どの部分からどのように削れば時間内に仕上げられるか手順を考える。 ｄ：木の特性を理解する。	授業観察 提出物 実習作品

※令和３年度以前入学生用

２学期	今日的社会問題をテーマにする ―　陶芸　〔メカロボット〕	・例えば「ヤングケアラー問題」など、取り組みたいテーマを設定する。 ・新聞報道などでどのように取り上げられているか調べる。 ・報道などから分かったことを整理し、取り組もうとするテーマが自分たちとどのように関わっているか考える。 ・問題を取りまく状況や背景、当事者の抱える困難などについて考える。 ・問題に対し、まず何をすべきか考えてみる。 ・すべきことに対して、デザインで何ができるかブレインストーミングする。 ・何をどのようなコンセプトでデザインするか検討する。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 陶器で独自のメカロボットをデザインし作成する。 複雑な構造のメカロボットをいかに仕上げるか。 粘土の特性を考えながら手順良く完成を目指す。	○	○	○	○	a:現在進行中の社会的な問題に関心を持つ。 b:報道などからの情報について熟考し、自分たちとどのように関わるか思考する。 c:ブレインストーミングなど発想を広げるための技術。 d:　取組むテーマについて理解を深める。デザインコンセプトについての理解。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ｂ：独創的なアイデアのデザインであるか。 ｃ：きれいな仕上がりの陶芸品ができたか。 ｄ：粘土の特性・釉薬の取り扱いの理解。	授業観察 提出物 実習作品

※令和３年度以前入学生用

２学期	今日的社会問題をテーマにする－陶芸〔メカロボット〕	・デザインのアイデアを考える。 ・アイデアが決まったら画材や表現方法を検討し、必要な準備や制作スケジュールを立てる。 ・制作する。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 陶器で独自のメカロボットをデザインし作成する。 複雑な構造のメカロボットをいかに仕上げるか。 粘土の特性を考えながら手順良く完成を目指す。	○	○	○	○	a: 現在進行中の社会的な問題に関心を持つ。 b: 表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。 c: 様々な表現の技術 d: 計画的に制作を進めるための知識と理解。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ｂ：独創的なアイデアのデザインであるか。 ｃ：きれいな仕上がりの陶芸品ができたか。 ｄ：粘土の特性・釉薬の取り扱いの理解。	
３学期	今日的社会問題をテーマにする－陶芸〔透かし彫り〕	・２学期に取り上げたテーマに対して作成したデザイン、あるいは取り上げた問題そのものについて告知するポスターを作成する。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ペン立て、キャンドル立て、香炉など透かし彫りのある陶器を作る。 使用目的に合った独自のデザインを考える。	○	○	○	○	a: 現在進行中の社会的な問題に関心を持つ。 b: 表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。 c: 様々な表現の技術 d: 計画的に制作を進めるための知識と理解。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ｂ：機能美を備えた個性的なデザインを考える。 ｄ：粘土の特性を知り、透かし彫りの技法を理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。